

氏名	高島 恭子	部署	社会福祉子ども学科	職名	准教授
研究分野	障害者福祉 精神保健福祉				
学位	修士 (社会福祉学)				
学歴	1986年国際基督教大学教養学部教育学科、2003年日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程				
経歴	2006年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師、10年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科准教授、17年長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科教授、17年長崎国際大学大学院人間社会学研究科教授				
所属学会 (役職)	日本社会福祉学会、日本保健福祉学会、日本グループホーム学会、日本発達障害学会、大学教育学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	JD仮訳にみるイギリスの障害者施策	単著	なし	すべての人の社会； vol.39(11)；P.8-9	高島恭子	2020.2
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	「国連・障害者権利委員会へイギリス地方自治体協会の資料 (2017年7月)」翻訳	共同	日本障害者協議会ホームページにて公開		佐藤久夫、高島恭子	2019.4
2	「デンマーク 第2回審査の簡易方式事前質問事項の前のパラレルレポート：デンマーク王国に対する「事前質問事項」に関する「市民社会組織」から国連障害者権利委員会への提議 (2019年2月)」翻訳	共同	日本障害者協議会ホームページにて公開		高島恭子、曾根原純	2019.5
3	(国際委員会報告) 「第1部第1章イタリアの社会福祉改革の下での専門ソーシャルワークの役割 (アナアマリア・カンパニーニ/ヴィンツェント・フォルトウナト著)」『ヨーロッパの社会構築とソーシャルワーク』	単独	ソーシャルワーカー；18； P.57-66		高島恭子	2019.6
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)		
1	障害者福祉論	○	15	障がい者福祉の理念、視点、制度等について講義を行い、ポートフォリオでの復習課題を用いて知識の定着を促した。		
2	相談援助の理論と方法ⅠB	○	15	相談援助の過程とそれに係る知識・技術について講義を行い、ポートフォリオでの復習課題を用いて知識の定着を促した。		
3	精神保健福祉論	○	8	精神障がい者の生活支援、居住支援について、グループワークを取り入れながら講義を行った。		
4	障がい者スポーツ		3	障がい者の生活支援、障がい者スポーツの意義、精神障害とスポーツについて、講義を行った。		
5	障がい者福祉特講	○	15	「発達保障」の理論についての文献購読を中心に講義を行った。		
6	事例研究 (障がい者福祉)	○	15	日本における障害者権利条約の理解を中心に事例研究を行った。		

7	事例研究（精神保健）	○	15	アメリカの高齢者のメンタルヘルスを中心に事例研究を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	相談援助演習ⅡA	○	15	相談援助における面接の特性や技法について、グループワークを行うことにより、学生の理解と実践力を向上させることができた。
2	相談援助演習ⅡB	○	15	相談援助に関わる理論について、グループによる事例検討を行うことにより、学生の理解と応用力を高めることができた。
3	相談援助演習ⅢA	○	15	社会問題を基盤とする相談援助事例について、グループ討議を行うことにより、学生の相談援助に係る知識と技術を高めることができた。
4	相談援助演習ⅢB	○	15	対象者別にみた相談援助事例についてグループ討議を行い、事例を巡る課題と専門的援助技術への学生の理解と応用力を高めることができた。
5	精神保健福祉援助演習（基礎）	○	15	グループワークを通して、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術についての学生の理解を深めることができた。
6	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	○	15	グループワーク、調べ学習、体験学習等を通して、精神保健医療福祉の現状と精神保健福祉士への期待を整理し、実習への準備性を高めた。
7	精神保健福祉援助実習指導ⅡA	○	15	個別指導、集団指導及び体験学習による、精神科医療機関等の具体的な状況の理解の促進と実習計画書の作成を通し、実習の事前学習を行った。
8	精神保健福祉援助実習指導ⅡB	○	15	巡回指導、帰校日指導、実習後のグループ学習等を通して、感情や意識の変化、成長の振り返りを実習報告書にまとめさせることができた。
9	教養セミナーA	○	15	講義や学生による発表、ペアワーク・グループワーク、合同セミナー等を通し、学生の大学生としてのスタディスキルを高めることができた。
10	教養セミナーB	○	15	グループ討議、体験学習を通して、プレゼンテーションやディスカッションなどのスタディスキルを向上させることができた。
11	専門演習A	○	15	グループ討議を通して、論文を読み、レジュメにまとめ、発表し、討議する力を向上させた。
12	専門演習B	○	15	個別指導、集団指導を通して、卒業研究のための資料を収集・整理し、卒業論文を構成する力を向上させた。
13	社会福祉総合演習（精神）	○	4	精神保健福祉士国家試験科目のテスト及び解説を通して、学生の精神保健福祉に係る知識の総合的理解を深めることができた。
14	社会福祉総合演習（福祉共通）		2	社会福祉士国家試験科目のテスト及び解説を通して、学生の障害者福祉に係る知識の総合的理解を深めることができた。
15	社会福祉総合演習（福祉専門）		3	社会福祉士国家試験科目のテスト及び解説を通して、学生の相談援助に係る知識の総合的理解を深めることができた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神保健福祉援助実習	○	2019.5～2019.9	4年次生を対象に精神科医療機関、主に精神障害者を対象とする事業所での実習指導を行った結果、期待した学習効果を上げることができた。
2	精神保健福祉援助実習		2019.11	日本社会事業大学通信教育科精神保健福祉士養成課程の学生の実習巡回において、実習の目的の確認、記録の取り方等を指導した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.11	主指導 3	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	長崎県立佐世保東翔高等学校第7回介護職員初任者研修	2020.1.22、1.29	生活・福祉系選択の高校生に対して、記入式ワークシート等を取り入れて「障害者自立支援制度及びその他制度」の解説を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	令和元年度長崎県精神保健福祉セミナー	長崎県精神保健福祉士協会	分科会2「ソーシャルワークの専門性の共有」コーディネータ	2019.12

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	佐世保市保健福祉審議会	委員（身体障害者福祉専門分科会副会長）	2016.4～2022.4	
2	佐世保市人権施策審議会	委員	2019.3～2021.9	
3	特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会	理事（国際委員）	2011.1～現在	
4	長崎県精神保健福祉士協会	理事	2014.6～2020.3	
5	佐世保市福祉活動プラザ入居団体選定委員会	委員	2019.8～2020.3	
6	特定非営利活動法人フォー・バイ・フォー	理事	2016.6～2020.3	
7	社会福祉法人あい里	理事	2017.4～2021.6	
8	社会福祉法人宮共生会	評議員	2017.4～2022.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	佐世保市	心の健康づくりフェスティバル実行委員	2019.4～2019.7
2	地域貢献活動	佐世保市	佐世保市ウォーキング&ゲームラリー実行委員	2019.7～2019.12
3	地域貢献活動	長崎県手をつなぐ育成会	「障害のある人の権利擁護・意思決定を支えるための推進会議」事業の活動支援	2019.4～2020.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	(前任校にて:全学的事項)		IRセンター委員会委員（2017.4～2020.3）	
2		○	研究センター委員会委員（2012.4～2020.3）	
3	(前任校にて: 学科等における委員会等)		健康栄養学科・健康管理学研究科研究倫理委員会委員（2012.4～2020.3）	
4		○	実習委員会精神保健福祉部会委員（2006.4～2020.3）	
5			社会福祉学科倫理委員会委員（2011.4～2020.3）	
6			学科運営委員会委員（2017.4～2020.3）	
7			人間社会学部倫理委員会委員（2018.4～2020.3）	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			